

<ニュースリリース>

『ウェアラブルトマト』東京マラソン 2015 無事完走！！
世界各国で話題沸騰のWEB限定動画は、172ヶ国、累計再生回数70万回突破
東京マラソン 2015 当日の様子を収めた動画も YouTube で公開！

カゴメ株式会社（社長：寺田直行、本社：愛知県名古屋市）が、東京マラソン 2015 に向けて、アートユニット“明和電機”と初タッグを組み開発した『ウェアラブルトマト』のWEB限定動画の再生回数が、全世界172ヶ国、累計70万回を突破しました。また、『ウェアラブルトマト』を装着して、東京マラソン 2015 に参加したカゴメ社員 鈴木重徳（農学博士）は、42.195km を完走し、当日の様子を収めた動画を公開しました。

《『ウェアラブルトマト』東京マラソン 2015 参加の様子》



©東京マラソン財団

『ウェアラブルトマト』開発プロジェクトは、スポーツとトマトの相性が良いという事実を多くのスポーツ愛好家に認知してもらうために、カゴメ株式会社と明和電機が初タッグを組み始動されたプロジェクトです。約4ヶ月の製作期間を経て完成した『ウェアラブルトマト』は実証実験のため、カゴメ社員 鈴木重徳（農学博士）が東京マラソン 2015 の規定に沿ったモデルを装着し、2015年2月22日（日）に開催された東京マラソン 2015 に参加しました。

コース途中で『ウェアラブルトマト』故障のアクシデントにみまわれ、25km 地点での体力の限界を迎えながらも、参加ランナーや沿道からの多くの声援に支えられ、合計20個のミニトマトを『ウェアラブルトマト』から補給し、42.195km を、Gross Time 6時間46分、(Net Time 6時間16分)で完走しました。完走後、カゴメ社員 鈴木重徳（農学博士）は、「マラソン初挑戦の被験者でも本機を実装の上、完走できたことから、マラソン時のトマト喫食が完走に大きく貢献する可能性を示すことが出来た」とコメントしました。

また、21日（土）に開催された東京マラソンフレンドシップラン 2015 においても、完成篇動画で公開された『ウェアラブルトマト』を装着し、外国人ランナーをはじめとする参加者の方々に驚きと笑顔を提供しながら完走しました。

ウェアラブルトマトの WEB 限定動画は、開発篇、完成篇累計で、動画再生回数70万回を突破し、日本国内に留まらず、海外のニュースサイトでも多数取り上げられ、172ヶ国で再生されています。そして本日、東京マラソン 2015 当日の様子を収めた動画『ウェアラブルトマト』完走篇もWEB限定で公開しました。

海外でも注目が集まるウェアラブルトマトの完走篇/完成篇/開発篇動画は下記 URL にて公開中

NEW！2月27日公開 完走篇動画はこちら

<http://youtu.be/MAZgkpaLk1A>

完成篇動画はこちら

<http://youtu.be/oUXj5bZcNaY>

開発篇動画はこちら

<http://youtu.be/RtM3x3rCK9M>

《『ウェアラブルトマト』開発プロジェクト概要》

『ウェアラブルトマト』開発プロジェクトは、スポーツとトマトの相性が良いという事実を多くのスポーツ愛好家に認知してもらうために始動されたプロジェクトです。トマトにはクエン酸やアミノ酸類などが疲労軽減に良いとされる栄養素が含まれているだけでなく、トマトに含まれるリコピンには運動によって溜まりやすい活性酸素を消去する効果があることや、継続してトマトを食べることでリコピンが体内に蓄積されることが明らかになっています。

そこで、スポーツ時に摂取するためには手軽に持ち運べる“モバイル性”が必要な点にカゴメは着目し、今回、アトユニット“明和電機”と初タッグを組み、昨年から話題となっている最先端テクノロジーの“ウェアラブル”をヒントに、走りながらトマトが補給できるデバイス、『ウェアラブルトマト』の開発プロジェクトを始動する運びとなりました。

(「ウェアラブルトマト」特設 WEB サイト: <http://www.kagome.co.jp/company/wearable/>)

【東京マラソン 2015 提供トマト】

■東京マラソン 2015 公認 オレンジまこちゃん(提供数: 2万個)

カゴメの高機能野菜(※1)。甘味が広がるフルーティな味わい。β-カロテンが豊富。



■東京マラソン 2015 公認 高リコピントマト(提供数: 1万個)

リコピン含有量が約1.5倍(※2)の中までしっかり赤い高機能野菜(※1)。

色の鮮やかさとトマト本来のおいしさが特長。



※1 植物由来の栄養素や栄養成分を、技術を用いて高い含有量にした野菜

※2 当社生鮮トマト(ラウンド)比。青果物のため、季節によって若干の変動があります

■東京マラソン 2015 公認 ちいさなももこ(提供数: 3万個)

ほんのり甘く、みずみずしいのが特長。小粒で食べやすいため、走りながらでも効率的に摂取できます。

■キッズチェリー 甘酸っぱく濃い味わいのミニトマト(提供数: 1万個)

【運動と高機能野菜でカラダの抗酸化力は上げられる】

カラダの抗酸化力=過剰に発生する活性酸素を消去する力を上げるには、毎日の生活に適度な運動と、高機能野菜を取り入れましょう。

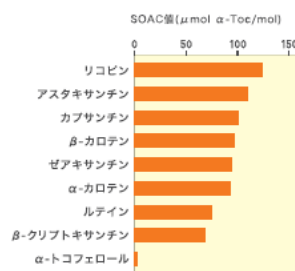
■「高リコピントマト」は抗酸化力(SOAC値)が高い

カロテノイド系抗酸化物質の値をSOAC法(※1)で調べてみると、トップランナーはトマトに多く含まれるリコピン。抗酸化には、特にトマトがいいらしい、ということがわかります(図1)。また、「高機能野菜」である、カゴメの「高リコピントマト」は、普通のトマトの約1.5倍(※2)のリコピンが摂取できるのです(図2)。食品から摂取されたカロテノイドは体内に吸収され、ヒトの体に蓄積されることがわかっています。

※1 SOAC法は食品成分の一重項酸素消去能を分析したものです。必ずしも生体において同じ効果を発揮することが確認されているものではありません

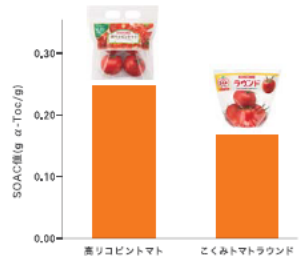
※2 当社ラウンド比。青果物のため成分は季節によって若干の変動があります

図1 カロテノイド系抗酸化物質のSOAC値



カロテノイド系抗酸化物質
『A. Agric. Food Chem. 59, 3717-29 (2011)』より一部抜粋

図2 「高リコピントマト」「ラウンド」のSOAC値(各1g当たり)



カゴメ調べ(2015)
高リコピントマトはこくみトマトラウンドよりも約1.5倍の抗酸化(SOAC値)を示す!

【トマトがランナーに嬉しい3つのポイント】

- ①運動により溜まりやすい活性酸素の消去作用がある
- ②疲労軽減に良いとされる様々な栄養素が含まれている
- ③レース中でも、食べやすい